

公共事業等施行状況調（令和3年12月末）

県 分

（単位：百万円、％）

工種区分	項目 年度	予 算 措 置 額				本工事費契約額及び契約率 (12月末)				備 考
		事 業 費		本 工 事 費		3年度 C	C/A	2年度 D	D/B	
		3年度	2年度	3年度 A	2年度 B					
1	治山・治水	26,343	26,588	17,240	17,932	13,042	75.6	13,355	74.5	
2	農林・水産	33,546	34,442	25,822	26,806	21,202	82.1	21,000	78.3	
3	道 路	59,093	56,264	38,142	35,220	32,913	86.3	30,049	85.3	
4	港湾・空港	7,164	6,938	3,453	3,712	3,190	92.4	2,650	71.4	
5	下水道・公園	9,647	8,551	2,400	2,314	1,999	83.3	2,035	87.9	
6	住 宅	2,513	2,090	2,085	1,680	1,276	61.2	1,364	81.2	
7	庁 舎	3,609	1,320	3,342	1,197	1,863	55.7	718	60.0	
8	土地造成	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
9	鉄道・軌道	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
10	学校・病院	19,169	14,181	15,607	11,509	7,447	47.7	3,652	31.7	
11	工業用水・上水道等	1,034	1,042	106	89	96	90.6	80	89.9	
12	災害復旧	1,088	190	1,072	132	699	65.2	127	96.2	
13	その他	9,033	11,435	6,550	8,056	4,834	73.8	6,068	75.3	
	計	172,238	163,043	115,820	108,648	88,562	76.5	81,098	74.6	

※項目ごとに端数処理をしているため計と一致しない場合がある。

公共事業等県内県外別発注実績（令和3年12月末）

（単位：社、件、百万円、％）

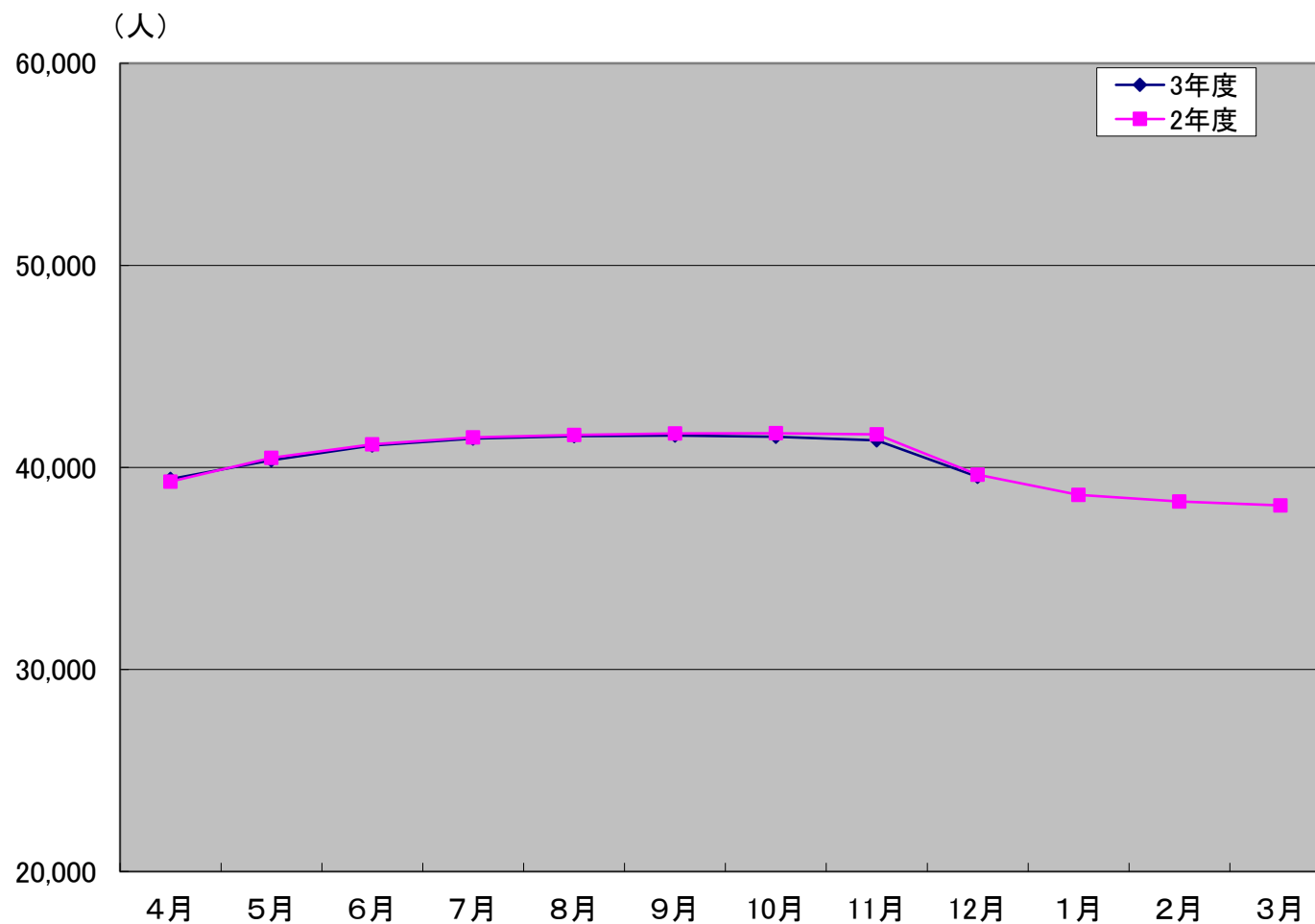
事項 区分	予算措置額 (A)		発注実績 合計 (B)											
	事業費	本工事費	県内 (C)			県外 (D)			共同企業体 (E)					
指名業者等			契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	
3年度	172,238	115,820	26,694	2,740	88,562	26,124	2,626	78,311	498	94	4,962	72	20	5,288
					B/A 発注率	C/B			D/B			E/B		
					76.5	97.9	95.8	88.4	1.9	3.4	5.6	0.3	0.7	6.0
前年度比	105.6	106.6	104.4	109.5	109.2	104.9	109.9	111.1	89.4	110.6	122.9	65.5	71.4	80.1
2年度	163,043	108,648	25,571	2,503	81,098	24,904	2,390	70,455	557	85	4,039	110	28	6,604
					B/A	C/B			D/B			E/B		
					74.6	97.4	95.5	86.9	2.2	3.4	5.0	0.4	1.1	8.1

被保険者数

	3年度	2年度
4月	39,424	39,303
5月	40,359	40,467
6月	41,085	41,148
7月	41,421	41,492
8月	41,541	41,611
9月	41,577	41,687
10月	41,516	41,689
11月	41,333	41,636
12月	39,528	39,646
1月		38,642
2月		38,307
3月		38,119

前月末被保険者数	41,333
資格取得者数	383
資格喪失者数	2,189
転入者数	2
転出者数	1
今月末被保険者数	39,528

雇用動向(建設業における雇用保険の加入動向)12月末



建設資材の需給・価格動向調査 (3年12月)

	需給動向									価格動向									備 考							
	青森			弘前			八戸			県平均			青森			弘前				八戸			県平均			
	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落		上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落	
セメント		○			○			○			○			○			○			○			○			県内の10月の販売量は3万7千トン(セメント協会調べ)で前年同月比7.2%の減。需要の低迷、燃料費の高騰など事業環境が厳しさを増すなか、メーカー各社は2,000円以上の値上げを打ち出した。主な需要家である生コンメーカーは、かつてない大幅な値上げに対し、危機感を強め、値上げに慎重な姿勢をとっている。交渉は本格化しておらず、先行き、横ばいの公算が大きい。
コンクリート製品		○			○			○			○			○			○			○			○			道路工事向け、農業土木向けとも昨年度比で県内出荷はやや減少している。コンクリート製品メーカー各社は、製造・輸送コストの上昇を理由に値上げを打ち出していたが、セメントメーカー各社の値上げ表明を受け、さらに製造コストが増加することに対する危機感を募らせている。安定供給を望む需要家は、値上げに理解を示し始めており、交渉に進展の兆しが見られる。先行き、強含みの公算が大きい。
生コンクリート		○			○			○			○			○			○			○			○			県内の11月の出荷量は5万6千m ³ (生コン工組調べ)で前年同月比16.6%の減。県内全体の生コンの需要が低調に推移している。こうしたなか、セメントメーカー各社が2,000円以上の値上げを表明。製造コスト増加を懸念し、既に値上げを打ち出している生コンメーカーは早急に値上げを浸透させたい意向である。しかし、需要家は工事量の伸び悩みを受け値上げには反発をしている。先行き、横ばいの公算が大きい。
砕石		○			○			○			○			○			○			○			○			生コン用、道路用とも出荷は低調に推移している。一部メーカーは運転手不足や燃料油高が輸送コストを押し上げているとして、来年度から値上げの意向を示している。しかし、主な需要家の生コン・コンクリート製品メーカーはセメントの値上げを理由に、すぐには値上げに応じられないという姿勢である。そのため、交渉は難航することが予想され、先行き、横ばいで推移する公算が大きい。
小 棒		○			○			○			○			○			○			○			○			SD295・D16でトン当たり97,000円と前月比1,000円の上伸。原料である鉄スクラップは小幅下落で軟化傾向にあるものの、メーカーの強い販売姿勢は変わらず、依然として高値圏で推移している。需要面では、納期を急ぐ案件は手配が済みしており、冬季要因も加わり荷動きは精彩を欠く。需要家は値上げに難色を示しているが、メーカー、流通筋とも採算確保のため、強い販売姿勢を維持する構え。目先、強含みの見通し。
アスファルト		○			○			○			○			○			○			○			○			11月の県内出荷量は8万2千トン(合材協会調べ)で前年同期比17.0%の減。小規模の維持・補修が必要の中心となっている。メーカー各社は、原材料高や輸送コストの増加などを販売価格に転嫁するため、値上げ交渉を継続。厳しい工事受注環境が続く状況下、需要家は採算が低下しているとして抵抗を続けている。交渉は平行線をたどっており、進展の動きは見られない。先行き、横ばいの公算が大きい。
木 材		○			○			○			○			○			○			○			○			管柱 杉(KD)3.0m×10.5×10.5cmでm ³ 当たり126,000円と前月比変わらず。ウッドショックと称される記録的な高騰に、ようやく天井感が頭顕してきた。10月の県内新設住宅着工戸数は490戸で前年同月比4.9%の減少(国土交通省調べ)。ウェイトの高い持家が前年同月比1.2%の増加、それに次ぐ貸家は同18.2%の減少となっている。米松など輸入材の市場供給が高値ながらも改善しており、流通筋の在庫も積み増しができる状況に転じている。輸入コンテナの現地滞留が解消されていないものの、当座の引き合いに対する供給懸念がなくなったことで、市場の先高観は急速に払拭されつつある。目先、横ばいの見込み。
油 類		○			○			○			○			○			○			○			○			軽油はミニローリー渡りでリットル当たり119円、重油はローリー渡りで80円とともに2円下落した。新型コロナウイルス変異株の影響で世界的な景気減速懸念が広がり、10月末まで高騰が続いていた原油価格は一転して下落した。これを受け元売り各社は仕切価格を引き下げ、流通筋も販売価格の見直しを順次進めている。主要産油国の追加増産は見送りとなったが、変異株の感染拡大により原油需要は減少するとの見方が広がっている。目先、弱含みの見込み。
型枠合板			○			○			○			○			○			○			○			○		12×900×1,800mm輸入品で枚当たり1,750円と前月比100円の上伸。11カ月連続の値上がりとともに、上昇幅が拡大した。現地の労働者不足に加え雨季の影響も重なり、入荷量は依然として低水準のまま。原木や接着剤などの高騰を背景に、現地価格はさらに上昇した。流通筋は、採算確保のため仕入れ価格上昇分を販売価格への転嫁を継続している。需要家は、稀に見る在庫不足の状況下、現物調達を優先し値上げを容認している。現地の価格高は今後も続く見込みで、目先、強含みの見通し。
形 鋼		○			○			○			○			○			○			○			○			200×100でトン当たり114,000円と前月比1,000円の上伸。原料である鉄スクラップは小幅下落で軟化傾向にあるものの、メーカーの強い販売姿勢は変わらず、依然として高値圏で推移している。流通筋は価格転嫁の交渉を継続しており、値上げ額の一部が浸透した。需要面では、店売り定尺は落ち着いているが、加工を絡めた東北管内の大型建築工事向けが堅調に推移している。流通各社は仕入れ価格上昇による採算悪化を回避するため、今後も強い売り腰を維持していく構え。目先、強含みの見通し。

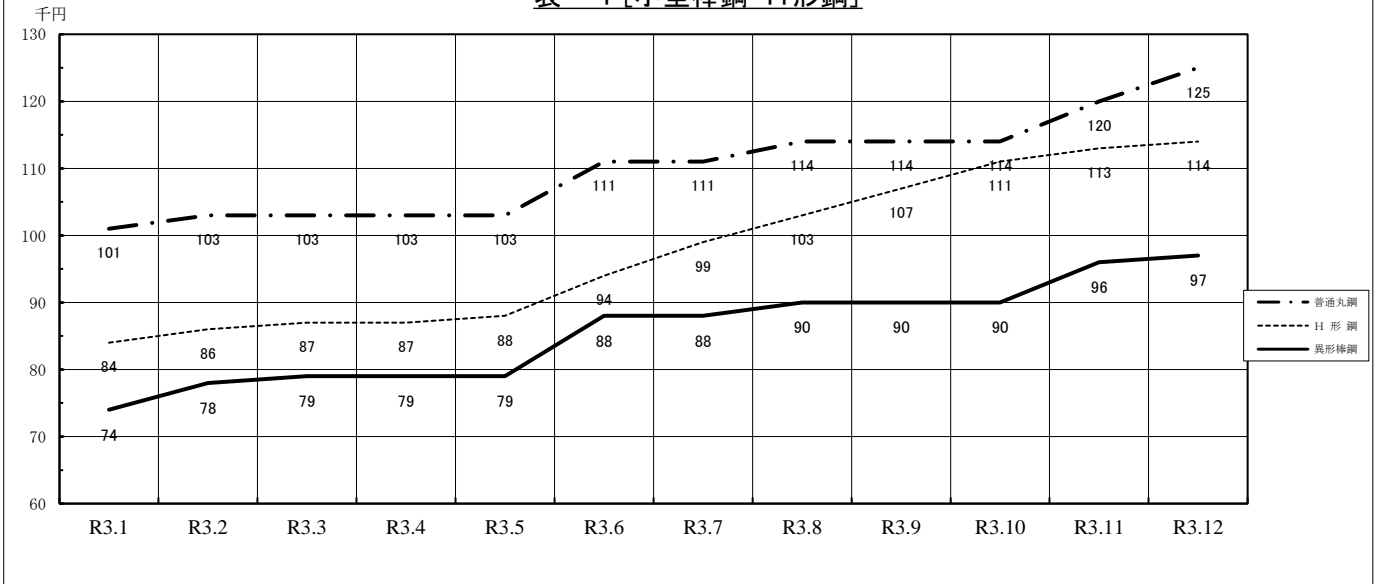
(価格動向欄の上昇・下落は、3%以上の変動とする。)

建設資材の需給・価格動向調査 (3年12月)

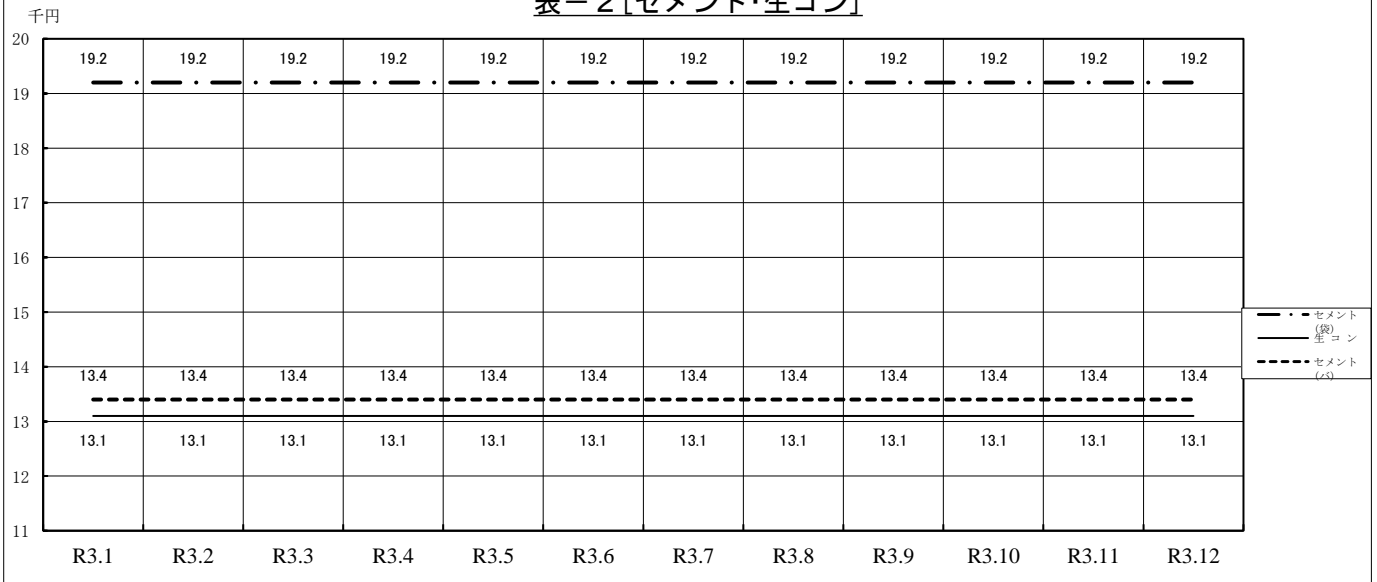
区 分	品 名 ・ 規 格	単 位	青 森		弘 前		八 戸		県 平 均		備 考
			価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	
セメント	バラセメント(普通ポルトランド)	t	13,400	0.0	13,400	0.0	13,400	0.0	13,400	0.0	
セメント	袋物セメント(普通ポルトランド)25kg入	袋	480	0.0	480	0.0	480	0.0	480	0.0	19,200円/t
コンクリート製品	U形側溝300B L=1m	本	2,790	0.0	2,790	0.0	2,790	0.0	2,790	0.0	
コンクリート製品	ベンチフリューム400型 L=2m	本	5,290	0.0	5,290	0.0	5,290	0.0	5,290	0.0	
コンクリート製品	ヒューム管B型 φ600 2.43m	本	36,000	0.0	36,000	0.0	36,000	0.0	36,000	0.0	外圧管1種
生コンクリート	18-8-40	m3	13,000	0.0	11,800	0.0	14,600	0.0	13,133	0.0	
砕石等	洗砂	m3	3,100	0.0	3,000	0.0	4,300	0.0	3,467	0.0	
砕石等	コンクリート用砕石 25~5mm	m3	3,900	0.0	3,700	0.0	4,600	0.0	4,067	0.0	
砕石等	切込砕石 40~0mm	m3	2,700	0.0	2,800	0.0	3,200	0.0	2,900	0.0	
小形棒鋼	普通丸鋼SR235 φ13mm	t	125,000	4.2	125,000	4.2	125,000	4.2	125,000	4.2	
小形棒鋼	異形棒鋼SD295A D16~25mm	t	97,000	1.0	97,000	1.0	97,000	1.0	97,000	1.0	
アスファルト	ストレートアスファルト 針入度60~100	t	96,000	0.0	96,000	0.0	96,000	0.0	96,000	0.0	60~80
アスファルト	アスファルト混合物 密粒度13	t	12,800	0.0	13,100	0.0	12,700	0.0	12,867	0.0	128,670円/10t
木 材	管柱 杉(KD) 長3m×厚10.5cm×幅10.5cm	m3	126,000	0.0	126,000	0.0	126,000	0.0	126,000	0.0	
油 類	軽油(ミニローリー渡し)	L	119.0	-1.7	119.0	-1.7	119.0	-1.7	119.0	-1.7	119,000円/kl
油 類	重油(ローリー渡し)	L	80.0	-2.4	80.0	-2.4	80.0	-2.4	80.0	-2.4	80,000円/kl
型枠合板	12×900×1800mm	枚	1,750	6.1	1,750	6.1	1,750	6.1	1,750	6.1	
H形鋼	SS400 200×100×5.5×8mm	t	114,000	0.9	114,000	0.9	114,000	0.9	114,000	0.9	

建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

表一 [小型棒鋼・H形鋼]



表二 [セメント・生コン]



表三 [骨材]

